

平成24年度シルバーサービス研究会 プログラム

研究会座長 桜美林大学大学院教授 白澤政和 氏

回	開催日	テーマ	概要	講師 (敬称略)
第1回	6月14日(木)	地域包括ケアシステム実現に向けての課題	地域包括ケアの推進に向けて、中重度の要介護者が住み慣れた地域で在宅生活を継続できるよう定期巡回・随時対応サービス創設などの在宅サービスの充実と施設の重点化や、リハビリテーションなど自立支援型サービスの強化と重点化、医療と介護の連携・機能分担の推進などをポイントに介護保険法改正、介護報酬改定が行われたが、その実現に向けては課題も残されている。研究会をスタートするにあたり、今後の課題などの論点について整理する。	厚生労働省老健局振興課
第2回	7月5日(木)	市町村における 地域包括ケアシステム実現に向けての現状と課題 ー 大阪市、堺市における取り組み ー	地域包括ケアの実現に向けて高齢者の日常生活圏ごとにニーズに応じたサービスの整備などを図っていくことが保険者に求められている。今回は、大阪市並びに堺市における地域包括支援センターの機能強化・充実や定期巡回・随時対応サービス等の在宅サービスの充実強化などの計画を通じて、市町村における地域包括ケア実現に向けての課題を整理する。	大阪市福祉局高齢者施策部 堺市健康福祉局長寿社会部
第3回	9月6日(木)	医療の機能再編と在宅医療の充実 ー 新生在宅医療・介護元年 ー	今回の診療報酬改定では、介護報酬との同時改定であることも踏まえ、医療と介護の役割分担の明確化と地域における連携体制の強化の推進及び地域生活を支える在宅医療等の充実を重点課題に、①在宅医療の促進、②看取り医療の充実、③入院患者の地域移行の推進、④在宅歯科・薬剤管理の充実、⑤訪問看護の充実、⑥医療・介護の円滑な連携の推進の面で報酬改定が行われた。また、在宅医療・介護推進プロジェクトとして、多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業、在宅医療連携拠点事業等の取り組みも進められていく。こうした在宅医療の今後の展開を踏まえながら、医療と介護の連携に関する課題等を整理する。	社団法人日本医師会介護保険委員会委員 社団法人大阪府医師会理事 中尾医院院長 中尾正俊
第4回	9月27日(木)	社会保障と税の一体改革を考える	近年の大きく変化する社会・経済情勢を踏まえ、将来にわたって持続可能な安定した「全世代対応型」の社会保障制度の実現を目指して、本年2月には「社会保障・税一体改革大綱」が閣議決定され、現在、その実現に向けて取り組みがされている。今回は、社会保障と税の一体改革で実現を目指している社会保障制度の概要について理解を深める。	※ 講師調整中
第5回	10月11日(木)	訪問介護の課題と今後の事業戦略	今回の介護報酬改定で、生活援助の時間区分の変更が行われた一方、中重度者の生活を総合的に支援するために身体介護に20分未満の区分が創設されたり、生活機能向上連携加算が新設されるなどの改定が行われた。また、24時間対応定期巡回・随時対応型サービスも創設された。医療と介護を切れ目なく提供し、より医療ニーズの高い高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、医療と介護の役割分担・連携強化等が進められる中、訪問介護はどのように展開していくのか。介護報酬改定後の動向等を踏まえながら、訪問介護の課題等を整理し、今後の事業戦略について考える。	セントケア・ホールディング株式会社 執行役員 岡本茂雄
第6回	11月8日(木)	サービス付き高齢者住宅の新たな展開	サービス付き高齢者向け住宅は、安否確認・生活相談の安心できる見守りサービスを基本に、運営会社によっては食事提供や掃除等の生活支援サービス等が提供される等多様な形態があり、高齢者の多様なニーズに対応している。また、介護や医療サービスとの連携、併設で、より介護・医療ニーズの高い高齢者への対応も可能となり、今後ますますサービス付き高齢者向け住宅に対するニーズは高まると予測される。今回は、こうしたサービス付き高齢者向け住宅の動向を知るとともに、今後の課題・問題点を整理する。	株式会社メッセージ 介護事業部 副事業部長 山川功
第7回	12月13日(木)	福祉用具サービス計画義務化の現状と課題	福祉用具レンタル・購入における個別援助計画(福祉用具サービス計画)の義務化が今回の介護保険法改正に盛り込まれた。これにより福祉用具専門相談員が利用者を支えるチームの一員として本来の機能を発揮する環境が整ったが、その一方で、これにより福祉用具の「質」が問われるようになったとも言える。今回は、改めて福祉用具サービス計画義務化の意義等を確認するとともに、サービス計画作成における課題等を整理する。	株式会社ヤマシタコーポレーション代表取締役 一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会理事長 山下平 一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会事務局長 山本志
第8回	1月10日(木)	意見・情報交換 ～ 座長・白澤政和先生を囲みながら ～	地域包括ケアの推進に向けて介護保険法改正・介護報酬改定が行われ、本研究会ではその検証を行ってきたが、今回は、本研究会の座長の白澤先生を囲みながら、参加者間の意見交換・情報交換等を行うとともに、参加者間の交流を深める。	桜美林大学大学院教授 白澤政和
第9回	2月14日(木)	小規模多機能型居宅介護の現状と課題	今回の介護保険法改正で、より医療的ニーズの高い利用者に対しても柔軟にサービスを提供し住み慣れた地域での生活を支えていくために小規模多機能型居宅介護と訪問看護の機能を有した複合型サービスが創設されたのをはじめ、サテライト型の実施もできることとなった。今後、高齢者、とりわけますます増加する認知症高齢者の地域での生活を支えていく上で小規模多機能型居宅介護の果たす役割はこれまで以上に高くなり期待されているが、介護業界における看護師不足等の問題も指摘されている中、新サービスをめぐる動向を踏まえながら、今後の課題・問題点を整理する。	特定非営利活動法人 全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会 代表 川原秀男
第10回	3月7日(木)	介護保険法改正・介護報酬改定 ー この1年間の評価と今後の課題 ー	地域包括ケアの推進に向けて介護保険法の改正とともに介護報酬の改定が行われて1年が経過しようとしている。今回は、本研究会の本年度締めくくりとして、シルバー産業新聞の現場取材等を通じて収集した今回の改正・改定が事業に及ぼした影響等を分析しながら、この1年間の評価を行うとともに、地域包括ケア推進に向けての今後の課題・問題点を整理する。	桜美林大学大学院教授 白澤政和 シルバー産業新聞編集長 安田勝紀